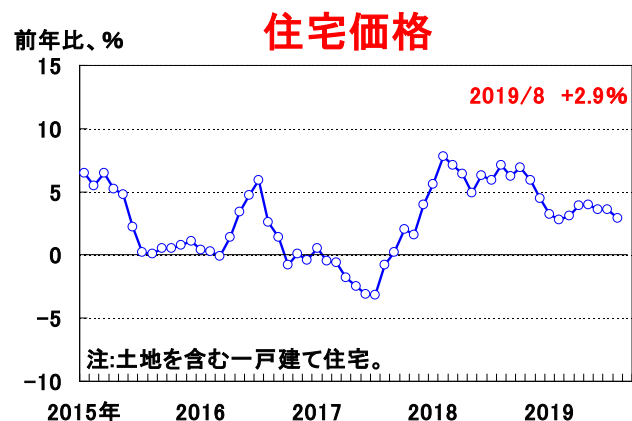
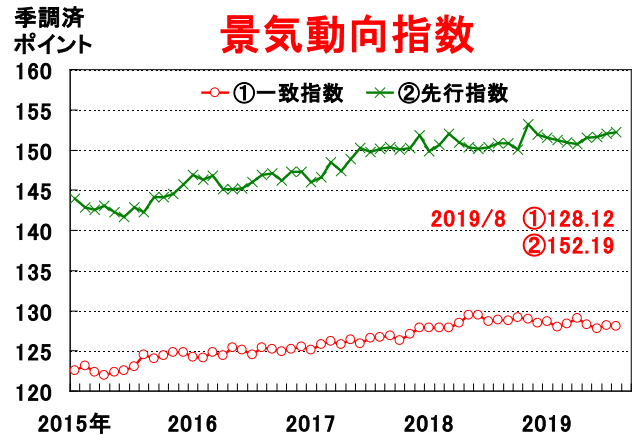
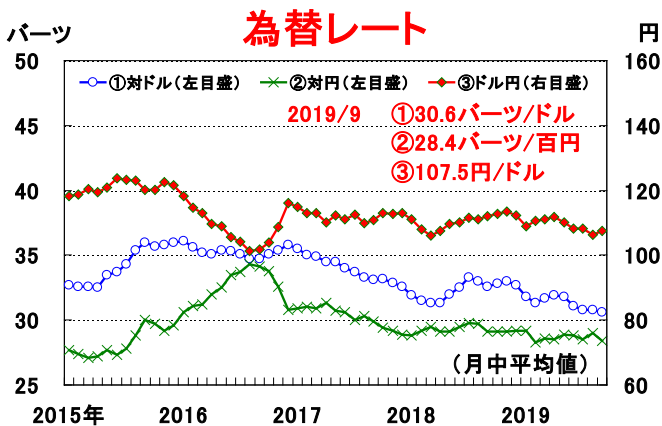
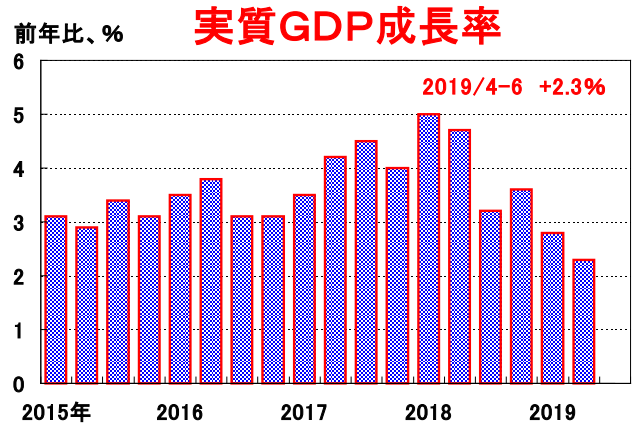
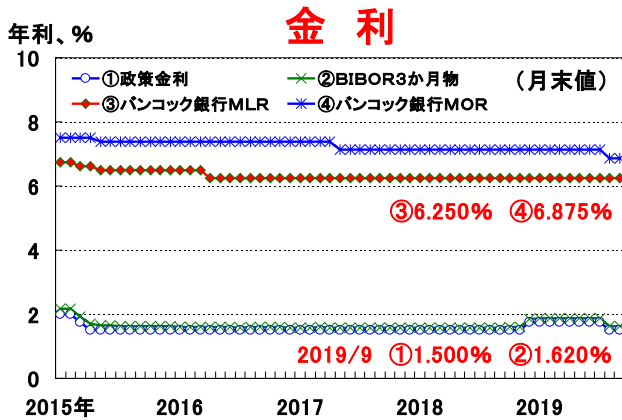


グラフで見るタイ経済 2019年10月号(No. 124)

タイ景気は、企業部門に弱含みの動きがみられる。8月の輸出は前年比-4.0%と、中国向けの減少もあり、再び前年水準割れに転じた。同月の工業生産指数は前月比-0.3%と下落し、主力産業である自動車の生産台数は前年比-8.2%とマイナス幅が拡大した。9月の企業景況指数は47.9と前月の48.6から低下して4か月連続で中立水準の50を下回っており、企業マインドは一段と悪化している。一方、家計部門をみると、8月の個人消費指数は前月比+0.3%と2か月連続で上昇した。外国人観光客消費の持ち直しが背景にあるとみられる。



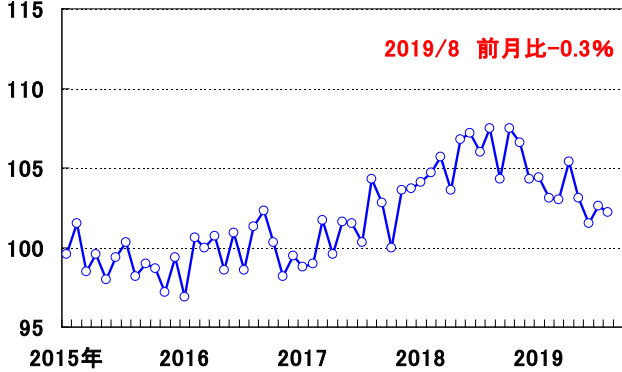
【今月のトピック: 中国からの生産拠点の移転促進策を公表】 タイ政府は9月6日、中国からタイに生産拠点を移転する企業向けにインセンティブを提供する政策パッケージを公表した。対象は、2021年までに実行される金額10億パーツ(約35億円)以上の投資プロジェクトである。今回の措置の対象として承認された場合、通常の税制優遇措置に加え、さらに追加で5年間、税負担が50%減免される。これに加え、航空産業や医療関連、ロボット工学など10業種に対しては、追加の優遇措置も提供される。今回の政策措置により、政府はタイを中国からの生産拠点の移転先の最有力候補にしたい意向である。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

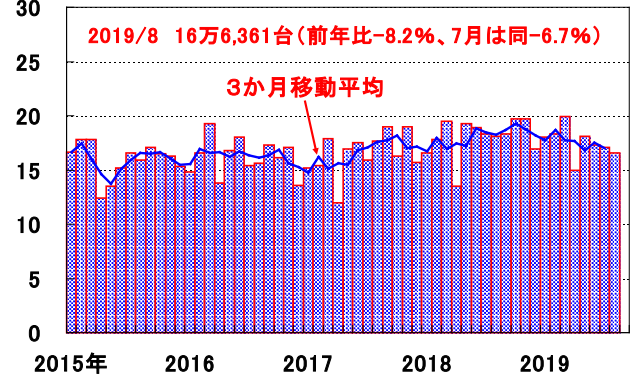
季調済
2011年=100

工業生産指数

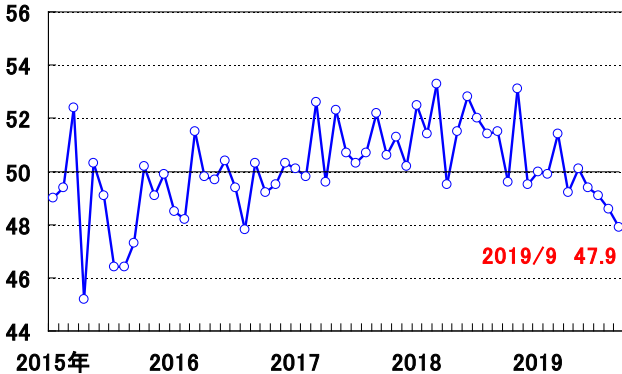


万台

自動車生産台数

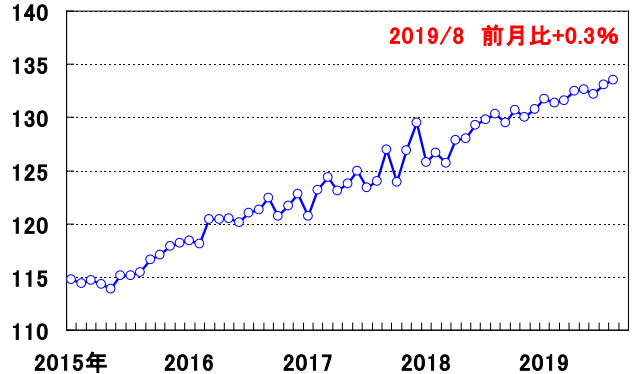


中立水準=50 企業景況指数(BSI)



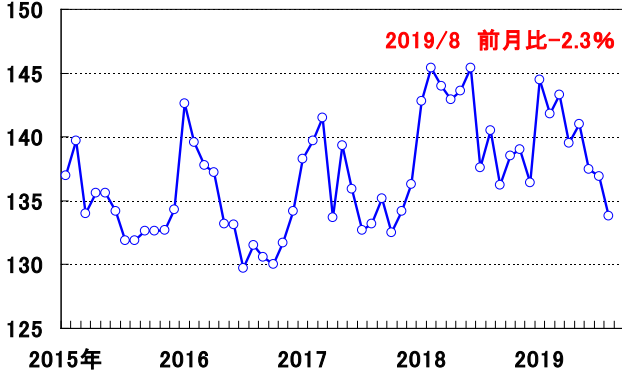
季調済
2000年=100

個人消費指数



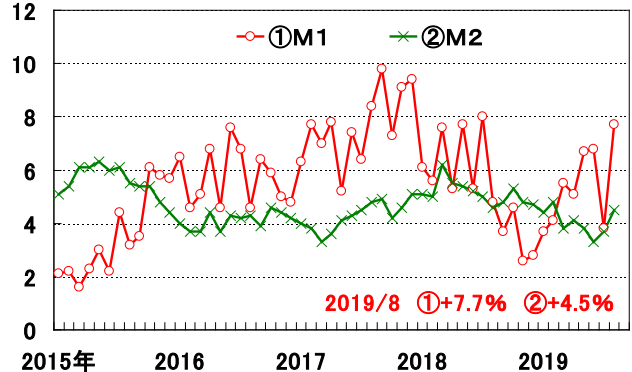
季調済
2010年=100

民間投資指数



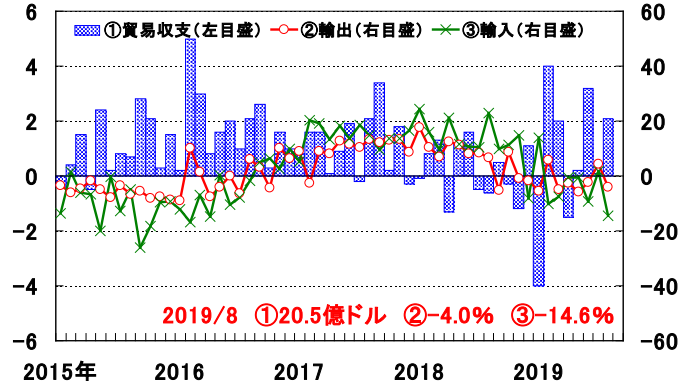
前年比、%

マネーサプライ



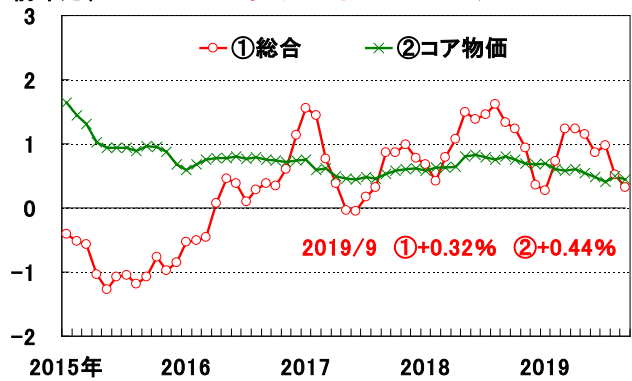
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (F T I)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。